



# **SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール**

SnapCenter software

NetApp  
November 06, 2025

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-61/protect-scsql/task\\_add\\_hosts\\_and\\_install\\_snapcenter\\_plug\\_ins\\_package\\_for\\_windows.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-61/protect-scsql/task_add_hosts_and_install_snapcenter_plug_ins_package_for_windows.html) on November 06, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール .....	1
ホストの追加とSnapCenter Plug-ins Package for Windowsのインストール .....	1
コマンドレットを使用した複数のリモート ホストへのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール .....	4
コマンドラインからのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのサイレント インストール .....	5
Plug-in for SQL Serverのインストール ステータスの監視 .....	6

# SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール

## ホストの追加とSnapCenter Plug-ins Package for Windowsのインストール

ホストを追加し、プラグイン パッケージをインストールするには、SnapCenter の\*ホストの追加\* ページを使用する必要があります。プラグインは、自動的にリモート ホストにインストールされます。

開始する前に

- SnapCenter Serverホストのオペレーティング システムがWindows 2019で、プラグイン ホストのオペレーティング システムがWindows 2022の場合は、次の手順を実行する必要があります。
  - Windows Server 2019（OSビルド17763.5936）以降にアップグレードする
  - Windows Server 2022（OSビルド20348.2402）以降にアップグレードする
- この処理は、SnapCenter Adminロールなど、プラグインのインストールとアンインストールの権限のあるロールが割り当てられているユーザが実行する必要があります。
- 組み込みでないクレデンシャルを指定してWindowsホストにプラグインをインストールする場合は、ホストのUACを無効にする必要があります。
- メッセージ キュー サービスが実行中であることを確認する必要があります。
- グループ管理サービス アカウント（gMSA）を使用する場合は、管理者権限でgMSAを設定する必要があります。

["Windows Server 2016 以降で SQL 用のグループ管理サービス アカウントを構成する"](#)

タスク概要

SnapCenter Serverをプラグイン ホストとして別のSnapCenter Serverに追加することはできません。

ホストの追加とプラグイン パッケージのインストールは、ホストごとまたはクラスタごとに実行できます。クラスタまたはWindows Serverフェイルオーバー クラスタリング（WSFC）にプラグインをインストールする場合、プラグインはクラスタのすべてのノードにインストールされます。

ホストの管理については、以下を参照してください。 ["ホストの管理"](#)。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[ホスト] を選択します。
2. 上部の\*管理対象ホスト\*タブが選択されていることを確認します。
3. \*追加\*を選択します。
4. [Hosts]ページで次の操作を実行します。

フィールド	操作
ホストタイプ	<p>ホスト タイプとして[Windows]を選択します。SnapCenter Serverはホストを追加し、Plug-in for Windowsをホストにインストールします（プラグインがまだインストールされていない場合）。</p> <p>[Plug-ins]ページで[Microsoft SQL Server]オプションを選択した場合、SnapCenter ServerはPlug-in for SQL Serverをインストールします。</p>
ホスト名	<p>ホストの完全修飾ドメイン名（FQDN）またはIPアドレスを入力します。信頼されないドメイン ホストのIPアドレスは、FQDNに解決される場合にのみサポートされます。</p> <p>SnapCenterが機能するためには、DNSが適切に設定されている必要があります。そのため、FQDNを入力することを推奨します。</p> <p>次のいずれかのIPアドレスまたはFQDNを入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタンドアロン ホスト</li> <li>• WSFC SnapCenterを使用してホストを追加し、そのホストがサブドメインの一部である場合は、FQDN を指定する必要があります。</li> </ul>
Credentials	<p>作成したクレデンシャル名を選択するか、新しいクレデンシャルを作成します。このクレデンシャルには、リモート ホストに対する管理者権限が必要です。詳細については、クレデンシャルの作成に関する情報を参照してください。</p> <p>指定したクレデンシャル名にカーソルを合わせると、クレデンシャルの詳細を確認できます。</p> <div>  <p>クレデンシャルの認証モードは、[Add Host]ウィザードで指定するホスト タイプによって決まります。</p> </div>

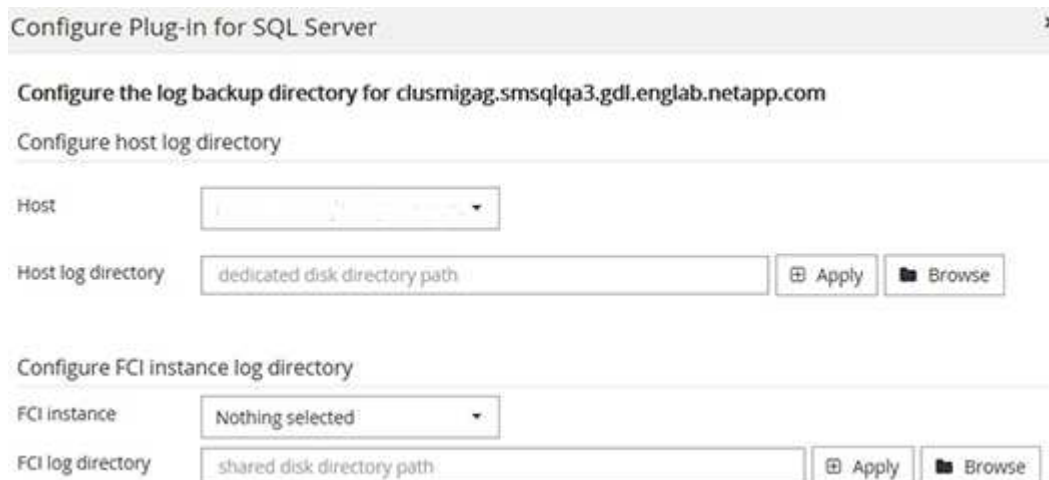
5. \*インストールするプラグインの選択\*セクションで、インストールするプラグインを選択します。

6. \*その他のオプション\*を選択します。

フィールド	操作
ポート	<p>デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は8145です。SnapCenter Serverがカスタム ポートにインストールされている場合は、そのポート番号がデフォルト ポートとして表示されます。</p> <div>  <p>プラグインを手動でインストールしてカスタム ポートを指定した場合は、同じポートを指定する必要があります。そうしないと、処理が失敗します。</p> </div>
Installation Path	デフォルトのパスはC:\Program Files\NetApp\SnapCenterです。必要に応じて変更できます。
クラスター内のすべてのホストを追加する	WSFCまたはSQL可用性グループ内のすべてのクラスタ ノードを追加するには、このチェック ボックスをオンにします。クラスター内の使用可能な複数のSQL可用性グループを管理および識別する場合は、GUIで該当するクラスタのチェック ボックスをオンにして、すべてのクラスタ ノードを追加する必要があります。
Skip preinstall checks	プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェック ボックスをオンにします。
Use group Managed Service Account (gMSA) to run the plug-in services	<p>グループ管理サービス アカウント (gMSA) を使用してプラグイン サービスを実行する場合は、このチェック ボックスをオンにします。</p> <p>gMSA名をdomainName\accountName\$の形式で指定します。</p> <div>  <p>ホストがgMSAに追加されていて、gMSAにログイン権限とシステム管理者権限がある場合は、SQLインスタンスへの接続にgMSAが使用されます。</p> </div>

7. \*送信\*を選択します。
8. (SQLプラグインの場合) ログ ディレクトリを設定するホストを選択します。
  - a. ログ ディレクトリの構成 を選択し、ホスト ログ ディレクトリの構成ページで 参照 を選択して、次の手順を実行します。

NetApp LUN（ドライブ）のみが選択肢として表示されます。SnapCenterは、バックアップ処理の一環として、ホスト ログ ディレクトリをバックアップしてレプリケートします。



- i. ホスト ログの格納先とするホスト上のドライブ レターまたはマウント ポイントを選択します。
  - ii. 必要に応じてサブディレクトリを選択します。
  - iii. \*保存\*を選択します。
9. \*送信\*を選択します。

「事前チェックをスキップ」チェックボックスを選択していない場合、ホストがプラグインのインストール要件を満たしているかどうかを検証されます。ディスク容量、RAM、PowerShellバージョン、.NETバージョン、場所（Windowsプラグインの場合）、Javaバージョン（Linuxプラグインの場合）が最小要件に照らして検証されます。最小要件を満たしていない場合、対応するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

エラーがディスク スペースまたはRAMに関連している場合は、C:\Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにあるweb.configファイルを更新してデフォルト値を変更できます。エラーが他のパラメータに関連している場合は、問題を修正する必要があります。



HAのセットアップでweb.configファイルを更新する場合は、両方のノードでファイルを更新する必要があります。

10. インストールの進捗状況を監視します。

## コマンドレットを使用した複数のリモート ホストへのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール

PowerShellのInstall-SmHostPackageコマンドレットを使用すると、SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverを複数のホストに同時にインストールできます。

開始する前に

プラグイン パッケージをインストールする各ホストに対するローカル管理者権限を持つドメイン ユーザとして、SnapCenterにログインしておく必要があります。

## 手順

1. PowerShellを起動します。
2. SnapCenter Serverホストで、Open-SmConnectionコマンドレットを使用してセッションを確立し、クレデンシャルを入力します。
3. Install-SmHostPackageコマンドレットと必要なパラメータを使用して、複数のリモート ホストにSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverをインストールします。

コマンドレットで使用できるパラメータとその説明に関する情報は、*Get-Help command\_name* を実行すると取得できます。あるいは、["SnapCenterソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド"](#)。

プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、-skipprecheckオプションを使用できます。

4. リモート インストールのクレデンシャルを入力します。

## コマンドラインからのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのサイレント インストール

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverは、SnapCenterユーザ インターフェイス内からインストールする必要があります。ただし、何らかの理由でインストールできない場合は、Windowsのコマンドラインから、Plug-in for SQL Serverのインストール プログラムをサイレント モードで自動的に実行できます。

### 開始する前に

- インストール前に、以前のバージョンのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverを削除する必要があります。

詳細については、以下を参照してください。 ["SnapCenterプラグインをプラグインホストから手動で直接インストールする方法"](#)。

## 手順

1. プラグイン ホストにC:\tempフォルダが存在するかどう、およびログインしているユーザにそのフォルダへのフル アクセス権があるかどうかを確認します。
2. Plug-in for SQL ServerソフトウェアをC:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Packageリポジトリからダウンロードします。

このパスには、SnapCenter Serverがインストールされているホストからアクセスできます。

3. プラグインをインストールするホストにインストール ファイルをコピーします。
4. ローカル ホストのWindowsコマンド プロンプトで、プラグインのインストール ファイルを保存したディレクトリに移動します。
5. Plug-in for SQL Serverソフトウェアをインストールします。

```
"snapcenter_windows_host_plugin.exe"/silent /debuglog"Debug_Log_Path"  
/log"Log_Path" BI_SNAPCENTER_PORT=Num  
SUITE_INSTALLDIR="Install_Directory_Path"  
BI_SERVICEACCOUNT=domain\administrator BI_SERVICEPWD=password
```

ISFeatureInstall=SCW,SCSQL

プレースホルダの値をユーザ自身のデータに置き換えます。

- Debug\_Log\_Path は、スイート インストーラー ログ ファイルの名前と場所です。
- Log\_Path は、プラグイン コンポーネント (SCW、SCSQL、および SMCORE) のインストール ログの場所です。
- NumはSnapCenterがSMCoreと通信するポートです
- Install\_Directory\_Path は、ホスト プラグイン パッケージのインストール ディレクトリです。
- domain\administrator は、 SnapCenter Plug-in for Microsoft Windows Web サービス アカウントです。
- password は、 SnapCenter Plug-in for Microsoft Windows Web サービス アカウントのパスワードです。  
+ "snapcenter\_windows\_host\_plugin.exe"/silent  
/debuglog"C:\HPPW\_SCSQL\_Install.log" /log"C:\ BI\_SNAPCENTER\_PORT=8145  
SUITE\_INSTALLDIR="C:\Program Files\NetApp\SnapCenter"  
BI\_SERVICEACCOUNT=domain\administrator BI\_SERVICEPWD=password  
ISFeatureInstall=SCW,SCSQL



Plug-in for SQL Serverのインストール時に渡されるすべてのパラメータでは、大文字と小文字が区別されます。

6. Windowsタスク スケジューラ、メイン インストール ログ ファイルのC:\ Installdebug.log、C:\Temp内の追加のインストール ファイルを監視します。
7. %temp%ディレクトリを監視して、msiexe.exeインストーラがエラーなくソフトウェアをインストールしていることを確認します。



Plug-in for SQL Serverをインストールすると、SnapCenter Serverではなくホストにプラグインが登録されます。SnapCenter GUIまたはPowerShellコマンドレットを使用してホストを追加することにより、SnapCenter Serverにプラグインを登録できます。ホストを追加すると、プラグインが自動的に検出されます。

## Plug-in for SQL Serverのインストール ステータスの監視


[Jobs]ページを使用して、SnapCenterプラグイン パッケージのインストールの進捗状況を監視できます。インストールの進捗状況をチェックして、インストールが完了するタイミングや問題が発生していないかどうかを確認できます。

### タスク概要

[Jobs]ページでは、次のアイコンで処理の状態が示されます。

- 進行中
- 正常に完了しました
- 失敗した
- 警告付きで完了したか、警告のため開始できませんでした



-  キューに登録

#### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[モニター] をクリックします。
2. \*モニター\*ページで、\*ジョブ\*をクリックします。
3. ジョブ ページで、プラグインのインストール操作のみがリストされるようにリストをフィルタリングするには、次の手順を実行します。
  - a. \*フィルター\*をクリックします。
  - b. オプション：開始日と終了日を指定します。
  - c. [タイプ] ドロップダウン メニューから、[プラグインのインストール] を選択します。
  - d. [Status]ドロップダウン メニューから、インストールのステータスを選択します。
  - e. \*適用\*をクリックします。
4. インストール ジョブを選択し、[詳細] をクリックしてジョブの詳細を表示します。
5. \*ジョブの詳細\*ページで、\*ログの表示\*をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。